

令和8年 6 月 吉日



協議会だより

足立区立第十二中学校

開かれた学校づくり協議会

会長 井門 明洋



令和8年度開かれた学校づくり協議会は、各自治会長、同窓会、校長、副校長、PTA 顧問、PTA など29名の委員で活動を行います。6月12日に第2回開かれた学校づくり協議会を開催し、CS 等について活発な議論が交わされました。

1 開会の言葉

第十二中学校は間もなく 80 周年を迎えます。これから様々な行事が控えており皆様のご協力が必要です。本日はコミュニケーションスクール（CS）導入のお話为中心となりますが、職員一同頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

2 委員委嘱 教育委員会挨拶 足立区教育委員会 青少年課 学校地域連携担当 三ヶ島 誠次男 様

学校の経営計画にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今回は、前回に引き続き「CS の導入について」ご検討をいただく流れとなっております。事前のご連絡通り、「学校経営計画（GIGA スクール構想等を含む計画）」に沿った形で方向性について、資料を交えてご説明させていただきます。

3 校長挨拶・趣旨説明 原田 正伸 校長

先日の運動会では、皆様の多大なご協力のおかげで、子供たちにとって思い出深い立派な行事となりました。心よりお礼申し上げます。子供たちは中間試験を終え、部活動は3年生の引退と2年生による新体制への移行期を迎えています。この2年生たちが「創立 80 周年の顔」となる子たちです。今年度から 80 周年に向けて学校全体で機運を高めていきたいと考えておりますので、ぜひ皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

4 会長挨拶 井門 明洋 会長

本日は陸上部での素晴らしい活躍をはじめ、コロナ禍を乗り越えて生徒たちが元気に活動できる場に戻ってきたことを嬉しく思っています。今日も皆様と様々なお話ができるよう、活発なご意見をよろしくお願いいたします。
本日の流れですが、CS の議論に少し長めの時間を取る予定です。そのため、1ヶ月前に事務局から連絡があった通り、各部会からの報告は簡潔にいただきますようご協力をお願いいたします。

5 議題

(1)足立区型CSの導入について 井門 明洋 会長

先日 6 月 3 日に CS 導入検討会議を立ち上げ、「CS を導入しよう」という方向性で概ね一致しました。具体的には、「開かれた学校づくり協議会」の上部に少人数の役員会を置き、学校と密に連携する体制を作ります。

ただ、最終承認はあくまでこの「開かれ」全体で行いますので、勝手に物事が決まることはありません。

まずは議事録をお読みいただき、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

※「コミュニティスクール（CS）導入検討会議 議事録」を資料として配布。

※以下質疑

質問１： CS を立ち上げるのであれば、既存組織の具体的な刷新案を示すべきですが、検討会議ではどのような議論が出たのでしょうか。

回答１： 検討会議では具体的な刷新案は出ず、既存活動を続けながら今後考える方針です。ただし、CS 化による予算増で、外部講師の活用や特別支援の環境整備など、これまで資金面で無理だった活動が可能になり、学校支援が充実するとの展望が示されました。

質問２： CS 導入後の予算で、イベント用の物品（たこ焼き器等）は購入可能ですか。それとも外部講師謝礼や教材費等に制限されますか。

回答２： 議事録によると、たこ焼き器のような物品購入の事例はなく、主に外部講師謝礼や消耗品費等に使われます。基本的には学校経営計画を達成するための活動（広報、学力向上、特別支援教育の充実等）に用途が限られ、イベントは「開かれ」の予算で実施するよう想定されています。

質問３： 現行の「開かれ」の予算は限られ、新しいイベントを企画しても、区の制約により用途が認められないことが多いのではないのでしょうか？

回答３： 議事録では、「開かれ」の予算の用途には制約があると認められており、イベントの事前確認で認められないケースがあることが示唆されています。

質問４： CS の予算についてです。上限は年 70 万円程度で決まっているのですか。また、活動内容によって増額してもらうことは可能でしょうか。

回答４： 資料によれば、消耗品や講師費などで総額 70 万円を参考額として提示しています。増額の可能性については、議事録上では明言されておらず、企画書次第での審査によって給付される形になっています。

質問５： 過去に方向性を統一するため部会を集約・廃止した経緯がありますが、現状はどうなっていますか。部会はもう機能していないのでしょうか。

回答５： 議事録によると、部会は廃止され、現在は全体で検討する形になっています。ただし、機能していないわけではなく、CS 導入に合わせて部会の再設定や活動の活性化を検討すべきだという意見も出ています。

質問６： CS を次年度から開始するため、ズルズルと形だけで引き延ばすのではなく、秋の提出に向け会議を増やして徹底的に話し合い、方針を固めるべきではないのでしょうか。

回答６： 今年度は会議の回数を増やして皆さんと研究をすすめ、秋までに方針を決めて準備したいと思います。夏休みの会議も含め、個別実施も検討していきます。

6 部会報告

7 情報・意見交換

8 閉会の言葉 浦山 太市 副会長

足立区には他区が羨む素晴らしい「開かれた学校づくり協議会」の土壌があります。この仕組みを活かし、学校と地域が完全に一体となって「子供たちのために頑張る組織」を新しく作っていきましょう。最終的に生徒たちが「十二中で学べて良かった」「この地域が大好きだ」と思える学校を作ることが私たちの使命です。

システムを理解し、みんなで誇れる組織にしていましょう。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。